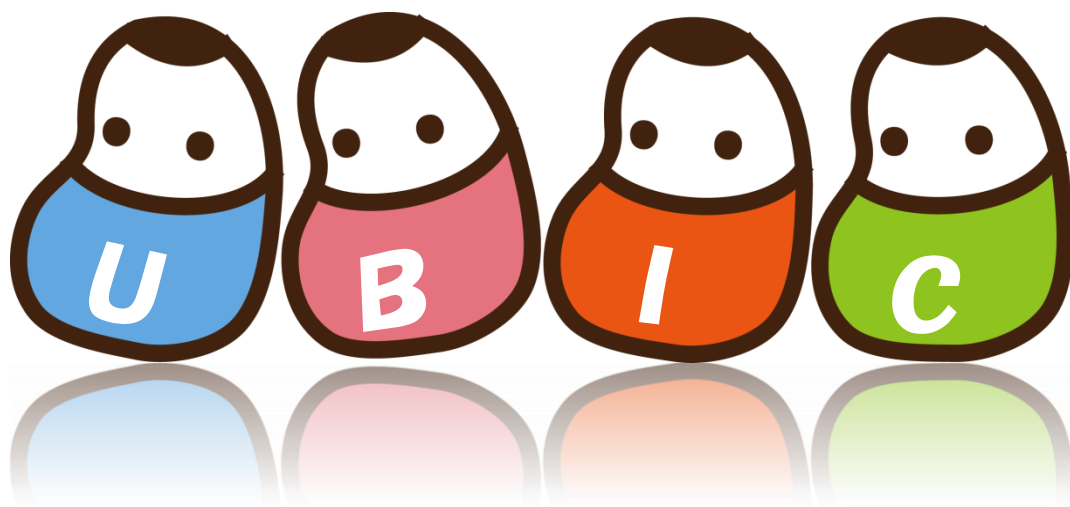


UBIC NEWS

University-Business Innovation Center

会津大学

産学イノベーションセンター



産学イノベーションセンター(UBIC)について

... P 1 ~ 2



UBICの主な取り組み

... P 3 ~ 5



研究技術の活用

... P 6 ~ 8



教育活動・起業サポート

... P 9 ~ 11



UBIC利用案内

... P 12 ~ 14

2016年4月発行
UBICニュース

第14号



1. 産学イノベーションセンター(UBIC)について



イノベーションの創出、産業の振興・発展を目指して

会津大学産学イノベーションセンター(略称:UBIC)は、会津大学と企業や地域が連携して研究を進めていくための産学官連携の拠点施設です。

地域や企業に開かれた総合窓口として、企業等との共同研究をはじめ、大学の研究や特許の紹介、大学発ベンチャーや起業家の育成、各種セミナー等の開催により、産学連携を推進しています。



また、企業等の技術相談や経営相談に応じるとともに、企業と大学研究者とのコーディネート活動を行い、産業創出・地域活性化のために活動を進めています。

UBICセンター長あいさつ



会津大学は、最先端のコンピュータ理工学の研究・教育に特化した大学です。この特徴を活かし、福島県内外のIT関連企業の皆様や、福島・会津地域の方々との産学官連携を強力に進めることで、産業の活性化、IT人材育成、雇用拡大を目指していきたいと考えています。

平成27年10月には本邦初の、産学官連携のためのクラウドを持つ先端ICTラボが開所しました。今後も、IT研究・教育の成果と国際ネットワークを活用し、震災復興を推進し、豊かで美しい福島県を再生していくため努力して参ります。

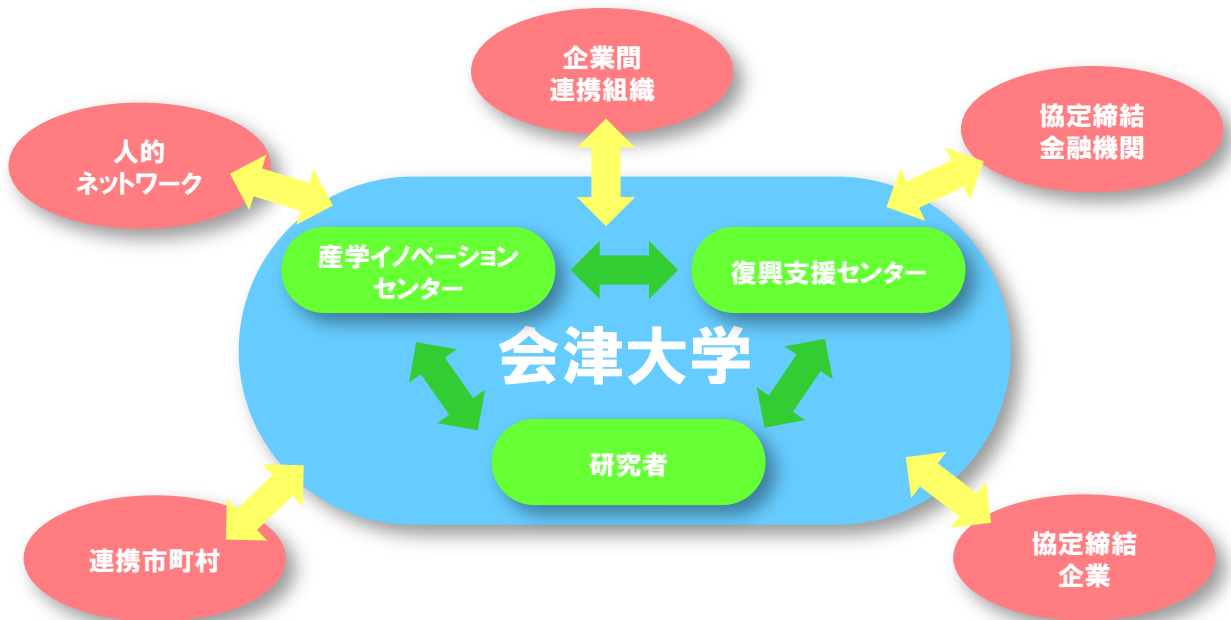
いわせ じろう
岩瀬 次郎 (会津大学理事 兼 産学イノベーションセンター長)

札幌生まれの京都市育ち。京都大学工学部大学院卒
日本IBM入社後、米国エール大学大学院へ留学、Applied Science & School Management 修了修士
日本IBMにおいて、コンピテンシーマネジメント企画管理マネージャやソフトウェアエンジニアリングマネージャ、コンピテンシー&スキル開発マネージャを歴任
平成19年4月より会津大学理事
平成22年4月、産学イノベーションセンター長に就任
平成25年3月、復興支援センター長に就任

産学官連携の体制

従来の産学イノベーションセンター(UBIC)を核とした産学官連携の枠組みに加え、東日本大震災・原子力災害からの福島県の復興支援を目的とした会津大学復興支援センター(ARC)を平成25年3月に設立しました。

復興支援センターでは、ICTを活用した産業の振興、雇用の創出を通じて、福島県の復興に貢献するとともに、先進的なICT研究を行い、新たなICT産業と雇用の創出を目指しています。また、その拠点施設として会津大学先端ICTラボ(LICTIA)が平成27年10月に開所しました。



産学イノベーションセンター
UBIC (University-Business Innovation Center)



復興支援センター
ARC (The University of Aizu Revitalization Center)

- 産学官連携の推進
- 共同研究・受託研究等の推進、外部資金の導入
- 企業等からの技術相談や経営相談
- 人材育成、大学発ベンチャーや起業家精神の育成
- 知的財産の管理・活用
- 研究成果の紹介、研究者の技術シーズの情報提供
- 最先端ICT情報を発信する産学連携フォーラムの開催
- ICT関連の各種講習会の開催
- 施設の提供
- 一般見学の受け入れ

- 先端ICT研究の実行
- 革新を生み出す場の提供
- ICT人材の創出
- 会津大学先端ICTラボの運営
- 会津産学官連携クラウドの運営
- 会津産学コンソーシアムによる意見交換
- ICTを活用した福島県復興への寄与
 - ・ 県民の安全・安心の向上
 - ・ 原子力災害からの復興
 - ・ 風評の払拭



2. UBICの主な取り組み

UBICでは、積極的に地域・産業界との産学官連携活動に取り組み、新産業の創出や地域活性化の促進に貢献しています。

会津産学懇話会との取組

会津産学懇話会は、平成5年4月の会津大学開学と相俟つように、平成5年12月に会津地区経営者協会有志により設立された大学支援団体です。毎月の定例会をはじめ、会津大学と会津産学懇話会の交流会・先進地視察等により、産学連携と会津地域の産業振興のための事業を展開しています。

定例会

月に一度、朝食をとりながら意見交換会を開催しています。



サマーイブニングパーティ

毎年夏には、教員の家族と産学懇話会会員がパーティを通して交流を深めています。



会津産業ネットワークフォーラム(ANF)との取組

会津産業ネットワークフォーラム(ANF)は、会津地域の振興に企業の立場から取り組み、地域とともに成長、発展することを目指して設立された、地域に根ざしたものづくり企業を核とする企業間の連携組織です。

ANF 技術者の集い

会津大学復興支援センターのAOI会議(Aizu Open Innovation会議)の一つとして開催しており、地域のものづくり企業の皆様のニーズを抽出し、大学との連携のもと、課題解決や新産業創出の場につなげていくことを目的としています。



会津IT秋フォーラム

会津IT秋フォーラムは、会津大学から福島県内外に最新のITに関する情報発信を行い、会津大学のIT拠点機能の強化を図ることなどを目的として、平成19年度から毎年度開催しております。

平成19～21年度は福島県地域づくり総合支援事業(サポート事業)として実施し、平成22年度以降は、会津大学の自主事業として実施してまいりました。平成27年度は「～Innovation from AIZU～」をテーマとして開催(会津産学コンソーシアム主催)しており、県内外での認知度も回を追うごとに高まっております。

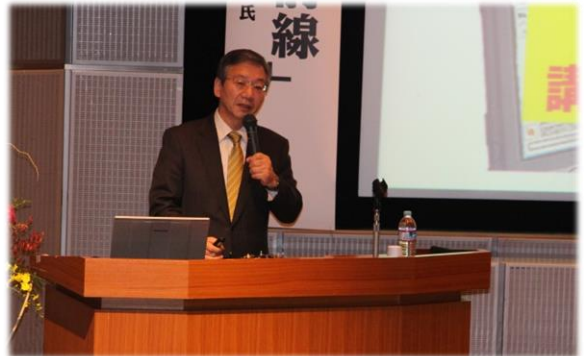
～Innovation from AIZU～

【開催日:平成27年10月29日(木) 会場:会津大学・会津若松ワシントンホテル】



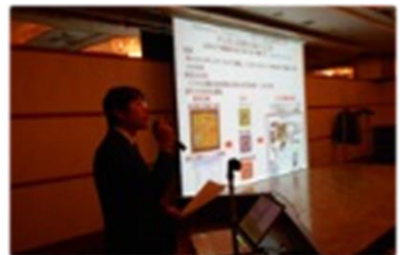
特別講演 人に伝わる情報発信とは

ジャーナリスト/メディアアクティビスト
津田 大介 氏



特別講演 空の産業革命とドローンビジネス最前線

㈱自律制御システム研究所代表取締役
/千葉大学大学院 特別教授
野波 健蔵氏



専門セミナー

開催テーマ
トラック1:復興支援
トラック2: ロボット
トラック3: ベンチャー



学生によるライトニングトーク

発表研究テーマ
・誤り耐性を向上させたICチップの製造
・ How the "SOS" message transmits within Senser-Assembled animals after emergency
・ Data Analysis and Situation Awareness on Big Data Infrastructure
・ Smart Applications over advanced Internet
・ Low Power Design of Digital VLSIs in Embedded Systems

産学官連携フォーラム

産学官連携の推進事業として、企業経営の向上や地域経済の活性化を目的とした「産学官連携フォーラム」を開催しています。平成27年度は下記3回のフォーラムを開催しました。

【第1回】 会津IT産業振興協議会設立記念フォーラム

- ・開催日：平成27年7月24日（金）
- ・共催：会津IT産業振興協議会
- ・講師：ソフトイーサ株式会社 登大遊氏
：一般社団法人Mozilla Japan 瀧田佐登子氏
- ・コーディネータ：一般社団法人コラボ産学官
加藤孝信氏
- ・パネリスト：会津大学2年 五十嵐太清氏
- ・来場者：50名



【第2回】 AMD OpenCLセミナー

- ・開催日：平成27年9月29日（火）
- ・共催：AMD
株式会社ACUBE
SAPPHIRE Technology
- ・講師：AMD David Cownie氏
- ・来場者：14名



【第3回】 福島市産学交流セミナー

- ・開催日：平成27年9月30日（水）
- ・共催：福島市 福島新産業創造推進協議会
- ・講師：会津大学 岩瀬次郎理事
会津大学 成瀬継太郎上級准教授
- ・LICTIA案内：会津大学 齋藤広幸上級准教授
- ・来場者：24名



3. 研究技術の活用

新技術説明会

会津大学が有する研究成果や特許等について、企業関係者等を対象とした研究技術説明会を開催しています。平成27年度は、科学技術振興機構(JST)・福島大学と共同でふくしま発新技術説明会を開催し、多くの来場者にお越しいただきました。

説明会では、大学教員自らが実用化を想定した説明を行い、企業ニーズとのマッチングを目指しています。また、説明会を通して、参加企業の要望に応じた技術相談を行うことで、産学官連携を推進しています。

開催日：平成28年2月26日(金)
会場：JST東京本部別館1Fホール
(東京・市ヶ谷)



1 ドロネット —ドローン群の有線ケーブル結合ネットワーク—

学長 岡 隆一

2 植え込み型除細動器植え込み術の 術前最尤化技術

上級准教授 朱 欣

3 複数の秘密画像を暗号化可能な 視覚復号型秘密分散法

准教授 渡邊 曜大

4 災害や障害に強く、メンテナンスコストの低い 無線センサーネット

教授 林 隆史

シーズ集の発行

UBICでは、毎年大学の研究成果や技術をまとめたシーズ集を発行しています。是非ご活用ください。

※ シーズ集は、UBICホームページでもご覧いただけます。

<http://www.ubic-u-aizu.jp/kenkyu.html>

また、UBICでは企業の皆様からの技術相談や産学連携のマッチング相談を随時受け付けています。

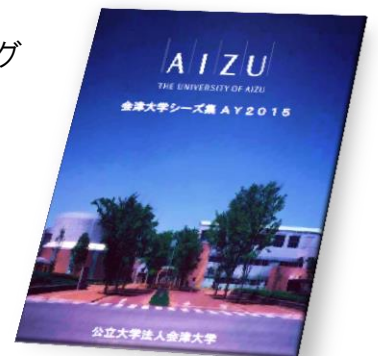
会津大学の技術に興味を持たれた方は、お気軽にご相談ください。

【相談窓口】産学イノベーションセンター(UBIC)

☎ : 0242-37-2776(代表)

HP : <http://www.ubic-u-aizu.jp>

✉ : ubic-adm@ubic-u-aizu.jp



共同研究等

本学との共同研究等をご検討の際は、コンピュータサイエンスを専門とする教員（約110名）の中から、研究テーマに最適な教員をご紹介します。どうぞお気軽にご相談ください。

■共同研究

共同研究とは、企業等の外部機関の研究者・技術者と本学の教員が共通のテーマについて研究を行う制度です。目的やご希望に応じて、以下の3つの形態から選択することができます。

- ① 研究に要する経費を受け入れて、本学の研究者が共通の課題について共同で行う研究
- ② 共同研究員を受け入れて、本学の研究者が共通の課題について共同で行う研究
- ③ 研究に要する経費と共同研究員を受け入れて、本学の研究者が共通の課題について共同で行う研究

■受託研究

受託研究とは、企業等からの受託により本学の教員が研究を行う制度です。研究に必要な経費は、委託者のご負担となります。

■奨学寄附金

奨学寄附金とは、教育及び学術研究の奨励に使用されることを目的に、企業等から寄附金を受け入れる制度です。

共同研究等の開始までのフロー



共同研究等の
希望について
UBICに相談



制度及び教員の紹介

打合せ
(研究テーマ、期間、金額などを決定)

教員と研究内容について打合せ

UBICと契約内容について打合せ

申込書の提出

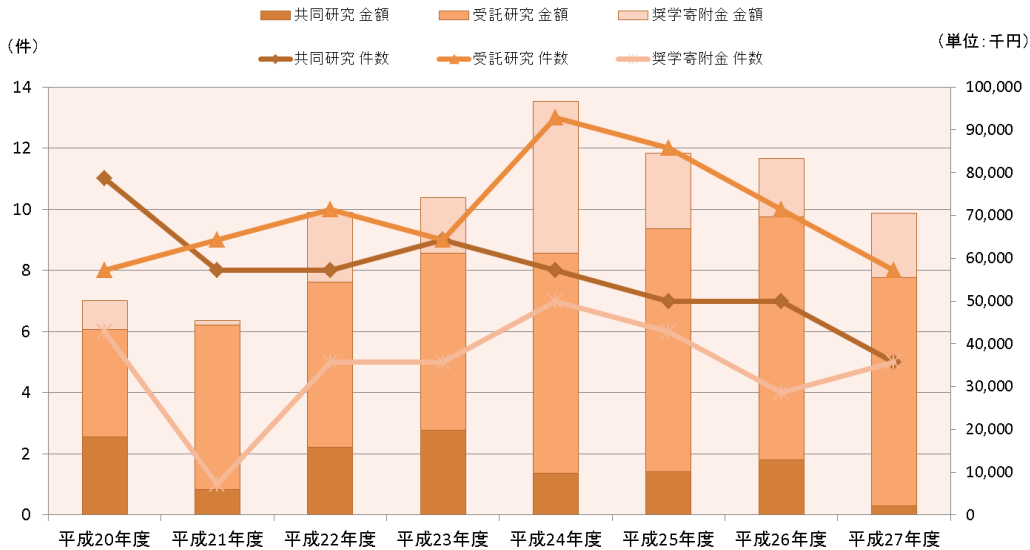
契約締結

費用の納付

研究スタート

共同研究等の実績

平成28年3月1日現在



出願済特許一覧

平成28年3月1日現在

出願番号	発明の名称	登録番号
1 特願2003-432771	立体形状物の生成方法	特許第4675042号
2 特願2004-067762	生体情報処理システム	特許第4633373号
3 特願2004-067782	生体センサ装置	特許第4633374号
4 特願2004-255617	身体状態監視装置	特許第4592360号
5 特願2004-302035	心電図測定装置及び心電図測定システム	特許第4705358号
6 特願2005-056804	編集支援プログラムおよびプログラム編集の支援方法	特許第5164032号
7 特願2005-094651	瞬時装着型電極装置	特許第4671406号
8 特願2005-204020	自動支援システムおよび自動支援方法	特許第4832016号
9 特願2005-291717	呼吸心拍監視装置	特許第4863047号
10 特願2006-005599	対象物のタグ情報と位置情報を特定するための無線ICタグ用タグ情報読み書きシステム	特許第5048247号
11 特願2006-034343	多変数決定木構築システム、多変数決定木構築方法および多変数決定木を構築するためのプログラム	特許第4997524号
12 特願2006-034344	多変数テスト関数生成装置、多変数テスト関数生成システム、多変数テスト関数生成方法および多変数テスト関数を生成するためのプログラム	特許第4997525号
13 特願2006-075524	音像定位装置及び音像定位方法 (※株式会社タムラ製作所との共同出願)	特許第4689506号
14 特願2006-075525	音像定位装置及び音像定位方法 (※株式会社タムラ製作所との共同出願)	特許第4949706号
15 特願2006-337242	利用人数算出システム、利用人数算出方法および利用人数算出プログラム	特許第4936523号
16 特願2007-114211	月経周期推定装置および月経周期推定方法	特許第5099751号
17 特願2008-075279	ワンタイムパスワード認証システム、ワンタイムパスワード認証方法、ワンタイムパスワード生成プログラム、ワンタイムパスワード認証プログラムおよびワンタイムパスワード生成装置	特許第5164204号
18 特願2008-230593	センサ装置、センシング情報収集システム、センシング機能代替方法およびセンシング機能代替プログラム	特許第5099777号
19 特願2009-005682	画像パターンマッチング装置、画像パターンマッチング方法および画像パターンマッチング用プログラム	特許第5247481号
20 特願2009-094620	アレイプロセッサ	特許第5519951号
21 特願2009-144420	認証カード、カード認証端末、カード認証サーバおよびカード認証システム	特許第5301365号
22 特願2009-297581	立体音響生成システム、その制御方法及び制御プログラム	特許第5472613号
23 特願2010-103209	カンチレバーアレイを有する共振センサ装置	特許第5462698号
24 特願2010-170828	複素型直交変調器、複素型直交復調器及びこれらに用いる直交ミキサ	特許第5574293号
25 特願2010-262195	ジェスチャ認識装置及びジェスチャ認識方法	特許第5733656号
26 特願2011-018668	ストローク生成装置、ストローク生成方法、ストローク生成プログラム、文字生成装置、文字生成方法および文字生成プログラム	特許第5713707号
27 特願2011-024333	画像生成装置および画像生成プログラム	特許第5642583号
28 特願2011-093262	ホルダ認証システム、ホルダ認証端末、基底画像生成装置およびホルダであることの認証に利用される記録媒体	特許第5767003号
29 特願2011-239897	体内臓器の動画像生成装置および体内臓器の動画像生成方法 (※一般財団法人竹田健康財団との共同出願)	特許第5879098号
30 特願2012-163332	動画像処理装置および動画像処理プログラム	特許第5608194号
31 特願2012-204403	センサネットワークシステム及びセンサネットワークシステムにおけるデータ取得方法	(審査請求済み)
32 特願2012-227771	秘密情報隠蔽装置、秘密情報復元装置、秘密情報隠蔽プログラムおよび秘密情報復元プログラム	(審査請求済み)
33 特願2013-024166	類似系列区間検出装置および類似系列区間検出プログラム	(審査請求済み)
34 特願2013-188978	水田除草ロボット (※玉川エンジニアリング株式会社との共同出願)	
35 特願2013-262523	誤り耐性ルータ、これを使用するIC、及び誤り耐性ルータの制御方法	
36 特願2014-051566	電子測角器及び測角プログラム	
37 特願2014-044834	深部温度計 (※奈良先端大学との共同出願)	
38 特願2014-041620	移動軌跡解析装置及び方法 (※NTT未来ねっと研究所との共同出願)	(審査請求済み)
39 特願2014-087842	視覚復号型秘密画像分散法、及びこれを実行するプログラム	
40 特願2014-139370	再生可能エネルギーによる不安定な発電力を情報処理として高付加価値サービス化する方法 (※ ネットワシシステムズ株式会社との共同出願)	
41 特願2015-044021	動線群時間変化分析装置、及び方法 (※NTT未来ねっと研究所との共同出願)	(未公開特許)
42 特願2015-139322	クロスモーダル感覚分析システム、提示情報決定システム、情報提示プログラム、クロスモーダル感覚分析プログラム、提示情報決定プログラム及び情報提示プログラム (※筑波大学との共同出願)	(未公開特許)
43 特願2015-177680	ドローンおよびドローン群	(未公開特許)
44 特願2015-196698	それぞれコントロールユニットを有する非ブロック光スイッチを用いる光ネットワーク・オン・チップシステム、及びその光ネットワーク・オン・チップのセットアップ方法	(未公開特許)
45 特願2015-204608	近似同期式CDMA通信システム及び通信方法	(未公開特許)
46 特願2015-207660	災害時情報管理システム、これに用いるサーバ装置及び端末装置	(未公開特許)
47 特願2015-217618	植え込み型除細動器の植え込み部位での体内電気伝導様式をシミュレーションするコンピュータ装置及びシミュレーション方法	(未公開特許)

4. 教育活動・起業サポート

会津IT日新館

～ベンチャー人材育成プログラム～

会津IT日新館は、大学が地域のベンチャー企業や自治体と連携し、地域や企業のニーズに対応したテーマを持つベンチャー体験工房群を構成し、挑戦する精神と技術力を持つ人材育成に取り組んでいます。

ベンチャー基本コース

ベンチャー基本コースは、より実践的なビジネス知識が習得できるように、「知識編」と「講義」で構成された授業です。「知識編」では、ビジネスに関連した知識を系統的に学び、ベンチャー精神育成に必要な知識を習得することができます。「講義」では、各分野で活躍している多彩な外部講師によるタイムリーな話題に触れることができます。

また、「あいつ農商工観学フェア」のビジネスプランコンテストへの応募も行っており、数々の賞を受賞しています。



～学生のアイデアが商品化されたビジネスプラン～

ベジメルバーガー

西会津町推奨のミネラル野菜、西会津特産の車麩(くるまぶ)を肉の代わりに用いており、車麩特有の美味しさと、新鮮な食感を味わうことができます。



さくらあげ

たこ焼きのたこのかわりに会津の名物である馬肉を使用した、健康的なファストフードです。

春は桜色の馬肉、夏は緑色のキャベツ、秋の紅葉は赤いタレ、冬は雪にみたまの白い生地で会津の四季を表現しています。

会津若松市内のスーパーで実際に販売されました。



ベンチャー体験工房

ベンチャー体験工房は、より少人数で実践的な教育手法として注目されているPBL(プロジェクト形式の課題解決型学習)を取り入れた授業です。

大学や地域、企業の課題を見つけ、チームで一つの開発テーマに取り組み、実践します。

また、企業の技術者から直接指導を受け、ベンチャー創業活動や産業界での実務に近いソフトウェア開発などの疑似体験をすることにより、起業家精神の醸成を行っています。



起業サポート

起業支援の取組について

会津大学では、以下のような創業支援・起業支援の取組を行っています。

◆会津大学発ベンチャーの称号付与

本学の研究成果や資源等を活用して起業したベンチャーに対して、「会津大学発ベンチャー」の称号を授与しています。

称号を受けた事業者に対しては、創業支援・起業支援に関する様々なサポートを行っています。



平成27年5月19日に行われた株式会社ウェブレッジへの会津大学発ベンチャー称号授与式の様子

平成28年3月1日現在の会津大学発ベンチャー（認定順）

No.	企業名	事業内容
1	株式会社会津ラボ	コンピュータに関するセキュリティシステムの企画、開発、運営ほか
2	株式会社心電技術研究所	医療福祉健康関連の情報処理システムの開発販売輸出入貿易、情報管理、及び情報提供サービス業務ほか
3	SORA有限会社	コミュニケーション用ソフトウェアシステムの開発及び販売ほか
4	株式会社Eyes,JAPAN	コンピュータの操作方法の指導、コンピュータシステムの企画調査及びコンサルティングほか
5	株式会社シンク	コンピュータに関わる各種ビジネスシステムの企画、コンサルタントほか
6	株式会社ニセンエックス	コンピュータのシステム開発及び販売ほか
7	天系瓜ネット合同会社	プロバイダサービス、ホームページ作成、各種プログラム開発、ネットワーク管理業務
8	株式会社デザインウム	映像・情報・広告宣伝媒体等の企画、編集、製造、販売
9	株式会社GClue	コンピュータシステム関連の出版業務、コンピュータソフトウェアの分析、設計、開発、販売、コンピュータによる情報提供サービスほか
10	有限会社フロンティアオンライン	コンピュータソフトウェアの開発、操作に関する指導、ソフトウェア及びハードウェアの販売
11	株式会社T&Iコミュニケーションズ	コンピュータに関するセキュリティシステムの企画、開発、運営ほか
12	株式会社あくしゅ	クラウド基盤構築、システム開発ほか
13	株式会社PLISE	システム開発
14	ノグチキカク	ホームページ作製・運用保守、オープンソースCMSのカスタマイズ、WEBアプリ、モバイルアプリの開発・運用保守ほか
15	株式会社ウェブレッジ	Webサービス改善コンサルティング事業、Web&モバイル・ソフトウェアテスト事業、開発ソリューション事業ほか

◆研究開発室等の利用と法人登記

本学の教員又は学生が起業したベンチャー（設立5年以内）などを対象として、産学イノベーションセンター（UBIC）の研究開発室※を提供しています。「会津大学発ベンチャー」の称号を授与された企業は、研究開発室の入居にあたって、使用料の減免措置を受けることができます。

また、本学施設を利用して事業活動を行うベンチャーは、入居期間中、本学の住所を法人登記の住所として活用することができます。

※研究開発室のほか、復興支援センター先端ICTラボのプロジェクトルーム、UBICのオフィスブース（本学在学生のみのみ）の使用も可能です。

学生の活躍

ACM-ICPC国際大学対抗プログラミングコンテスト世界大会へ

2015年11月に筑波大学で開催されたACM-ICPC国際大学対抗プログラミングコンテストアジア地区予選筑波大会において、会津大からはチーム FinalZukkyが参加し、6位入賞(大学別5位、国内大学別2位)を果たしました。

2015年12月に開催されたシンガポール大会では、12位(大学別8位)となり、FinalZukkyは選考の結果、2016年5月にソングラーナカリン大学(タイ、プーケット)で開催される世界大会への出場権を獲得しました。会津大学チームの世界大会出場は、2009年以来2度目です。



会津大学OpenAppLabと福島ガイナックスのコラボイベント

2015年12月に、会津大学OpenAppLabと福島ガイナックスによる第一回コラボイベントが開催されました。イベントは、ハッカソン形式で行われ、大学とアニメーション会社によるものとしては、日本初のハッカソンとなりました。

このハッカソンで、会津大生の鍛哲史さん(学部4年)が、ガイナックス賞を受賞しました。



アイデアソン・ハッカソン【家庭のエネルギー管理アプリ】

2016年2月に、コワーキング・スペースMONO(東京都江東区)にて開催された「アイデアソン・ハッカソン【家庭のエネルギー管理アプリ】」に、会津大生の鍛哲史さん(学部4年)が参加し、鍛さんのチームによる作品「Flat」が、最優秀賞を獲得しました。



スマートフォンアプリジャム2015 (SPAJAM) 仙台予選

2015年5月、スマートフォンアプリのハッカソン「スマートフォンアプリジャム2015 (SPAJAM) 仙台予選」が東北大学・カタールサイエンスキャンパスホールで開催されました。

13チームが参加したこの予選大会で、会津大生らが参加したチーム「会津大学フォークダンス部」が優秀賞を獲得しました。



国際IT日新館

※平成26年度よりスーパーグローバル大学創生支援事業として実施しています

会津大学では、会津藩校日新館(*)の精神を新しい時代に活かし、イノベーションに挑戦する精神と技術力を持つ創業意識の高い若手人材育成に取り組んでいます。

国際IT日新館は、海外からの留学生を、グローバルITリーダーとして育成する教育プログラムです。

また、大連東軟信息学院(中国-大連)、アルパイン株式会社、公立大学法人会津大学の3者では「大連・福島の産学協同IT人材育成モデル」を実施しています。

(*)会津藩校日新館は、幕末会津藩の最高学府で、教育の重要な役割を担っていました。

白虎隊士や新島八重の兄(山本覚馬)など、優秀な人物を多数輩出し、全国に数ある藩校の中でも屈指の教育機関であったといわれています。



5. UBIG利用案内



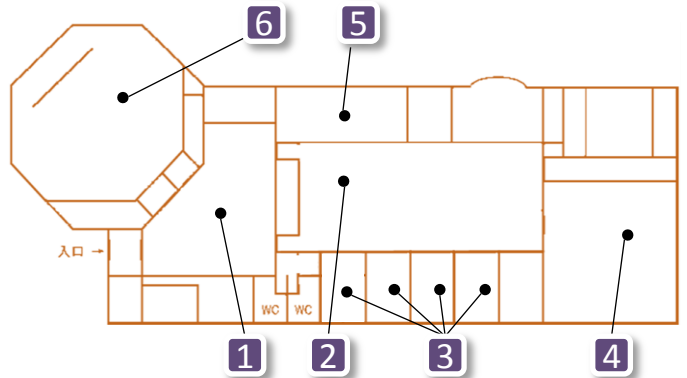
- 開館時間 午前8時30分～午後5時
- 休館日 土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始
- 申込方法 事前申込制

※使用する施設・システムの空き状況については、電話、Eメール等によりお問い合わせください。

※申請書はUBICホームページからダウンロードできます。

※使用単位中「1回」とあるのは、次に掲げる時間です。

①8:30～12:30 ②13:00～17:00



無料施設

1 エントランスホール



技術相談や共同研究の打合せ、あるいは情報交換や休憩等にご利用いただけます。ビジネス書を中心とした約300冊の蔵書を自由に閲覧することのできるスペースもあります。

2 オープンスペース



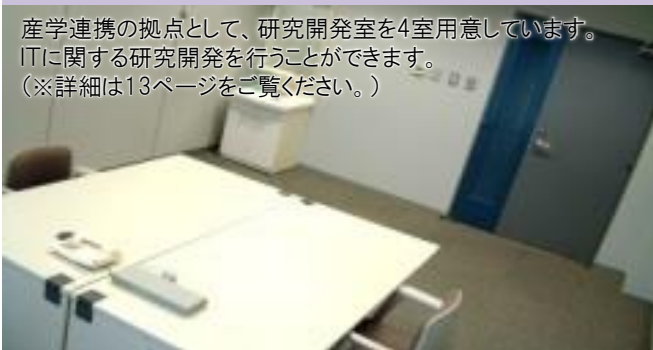
会議用の机、椅子、 프로젝タを設置しています。無料で開放していますので、ミーティング等でお気軽にご利用いただけます。

有料施設

3 研究開発室

使用料 432,000円/1室1年

産学連携の拠点として、研究開発室を4室用意しています。ITに関する研究開発を行うことができます。(※詳細は13ページをご覧ください。)



4 運動解析ルーム

使用料 16,200円/1回

人間の動きをデータとしてコンピュータに取り込むことができ、スポーツ技術の向上、リハビリ器具の開発、伝統芸能の保存などにご利用いただけます。



5 セミナールーム

使用料 21,600円/1回

20台のパソコンと50インチディスプレイ4台により、インターネット・プログラミング・イントラネット・MS Office等の各種講習会にご利用いただけます。また、UBIC主催の講習会も開催しています。



6 3Dシアター

使用料 21,600円/1回 (50人程度入場可能)

高輝度高精細液晶プロジェクタ、200インチスクリーンを使ったセミナーの開催、その他プレゼンテーションの場としてご利用いただけます。



研究開発室

UBICでは、会津大学の技術を活用し、ITに関する研究開発を支援する施設として、企業等の皆様に「UBIC研究開発室」を提供しています。

■研究開発室の使用対象者

- (1) 会津大学の教員と共同でコンピュータソフトウェア又はハードウェアに関する研究開発を行う福島県内外の企業、各種団体、又は個人。(※毎年度更新、最長3年以内で利用可能)
- (2) 会津大学の教員又は学生が起業した法人(設立後5年以内の法人に限る)、又は起業しようとする個人。(※毎年度更新、最長5年以内で利用可能)

■研究開発室の概要

研究開発室1	研究開発室2	研究開発室3	研究開発室4
約24㎡	約24㎡	約24㎡	約24㎡



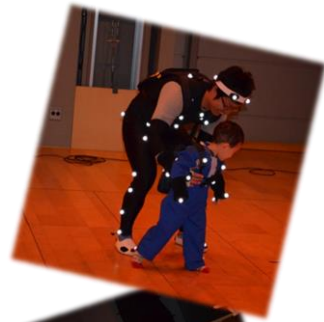
- (1) 部屋数：4室
- (2) 面積：24㎡(1室)
- (3) 使用料：432,000円(1室1年、税込)
- (4) 研究開発室内では、机、椅子、電気、水道、ネットワークが使用可能です。(光熱水費は使用料込)
- (5) コンピュータおよび周辺機器、電話等の必要な機器については、使用者側で準備していただきます。

■使用者決定の流れ

- (1) 公募開始 ※研究開発室の空き状況等により、公募の時期や内容が異なります。
※公募の際には、UBICホームページ等でお知らせします。
↓
- (2) 使用者の選定 ※『会津大学産学イノベーションセンター研究開発室使用者選定基準』に基づき選考します。
↓
- (3) 使用者決定の通知、入居手続きの開始等

モーションキャプチャ体験

『会津大学オープンキャンパス(夏・秋の年2回)』に、UBICの運動解析室(モーション・キャプチャシステム)の無料体験を実施しています。



オープンキャンパスの様子。
家族連れなど沢山の利用者でにぎわいます。

運動解析室では、人や物の動きをコンピュータに取り込む技術を気軽に体験できます。

UBIC専任教員

UBICでは、共同研究のコーディネートから発明・特許の管理まで、産学連携に必要なサポートを実施いたします。技術相談や事業化に関わる相談等を幅広く受け付けていますので、是非お気軽にご相談下さい。



産学イノベーションセンター
教授
石橋 史朗

産学連携活動を進めていく中で、防災、環境、高齢化社会などの課題解決に、情報通信技術を少しでも役立てていければと考えています。また大学内外における教育活動を通じて、次の世代を担う若い方々の育成にも貢献できればと考えておりますので、よろしく願い致します。



産学イノベーションセンター
准教授
山本 幸生

産学官の違いを意識した上で、長期的に機能する連携の枠組みを構築したいと考えています。そのために短期的な実験のプロジェクトに多く取り組み、有望なプロジェクトのグローバル展開やテンプレート化により、地域や分野に良く馴染んだ連携モデルへと成長させられたらと思います。



産学イノベーションセンター
准教授
リサーチアドミニストレータ
藤井 靖史

産学公連携の要である、信頼関係の構築、オープンな議論、課題設定に尽力したいと考えております。地域にある様々な課題に対してフットワーク軽く取り組んでいきます。さらに、外部との接点を多く提供することで、皆が活躍できる環境を一緒に構築していきたいです。

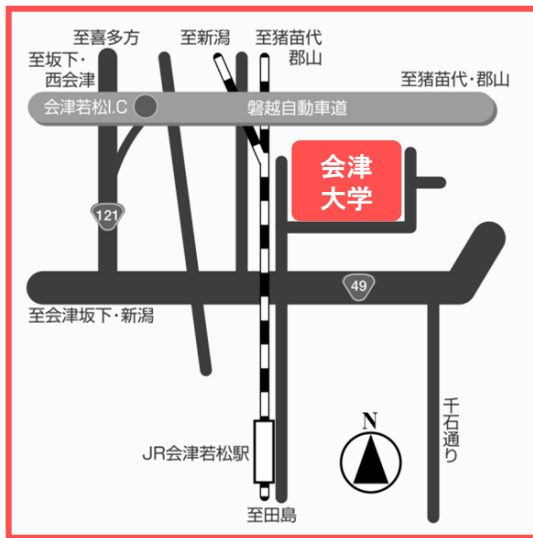
UBICインフォメーション

◆ メーリングリストの登録

UBIC各種講習会への参加・応募を希望される方は、住所・氏名・電話番号・e-mailアドレスを明記のうえ、FAX、e-mail等でご連絡ください。メーリングリストに登録のうえ、詳細情報が決まり次第ご案内いたします。

なお、メーリングリストへはUBICホームページからも登録できます。

◆ アクセス



<キャンパスマップ>



会津大学産学イノベーションセンター(UBIC)

〒965-8580 福島県会津若松市一箕町大字鶴賀字上居合90

電話：0242-37-2776

FAX：0242-37-2778

Eメール：ubic@u-aizu.ac.jp

ホームページ：http://www.ubic-u-aizu.jp/

会津大学産学イノベーションセンターのFacebookページもございます。

UBIC Facebook

